

平成 23 年度 日本リハビリテーション医学会 通常総会・評議員会 議事録

通常総会 議事録

日 時：平成 23 年 6 月 3 日(金)

15 時 15 分～17 時 00 分

場 所：毎日新聞ビル オーバルホール

大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞ビル B 1

会員数：9,653 名

出席者：会場出席者 127 名

委任状提出者 7,342 名

議長の選任

定款第 28 条に基づき、出席正会員のうちから古市照人正会員が議長に選任された。また、副議長には大串 幹正会員が選任された。

定足数の確認

議長は、出席正会員及び委任状提出者を確認し、定足数（正会員現在数の過半数 4,827 名以上）に達していることに併せ、定款変更案の承認に必要な正会員現在数の 4 分の 3 以上に達していることを確認した後、開会を宣した。

議事録署名人の選任について

議長の指名により議事録署名人に、中野恭一正会員及び宮崎博子正会員が選任された。

議 題

報告事項

I. 理事長報告

里宇理事長から、平成 22 年度における主な活動を総括して報告が行われた。

II. 平成 22 年度各種委員会報告

里宇理事長から、平成 22 年度の各種委員会及びリハビリテーション科専門医会の活動状況について、報告が行われた。

1 編集委員会報告

担当理事：川平和美

委員長：長岡正範

委 員：青柳陽一郎、伊佐地隆、荏原実千代、加賀谷 齊、鈴木康司、橋本圭司、原 寛美、原 行弘、馬庭 壯吉

年度内交替委員：森田定雄

1. 委員会の開催

本年度年 6 回の委員会を開催した。（うち 1 回は論文賞選考委員会を兼ねる）

2. 活動内容

1) 学会誌刊行の状況

平成 22 年 1 月から 12 月の間に The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 第 47 巻 1 号から 12 号の計 12 冊が発行された。また、第 47 回日本リハビリテーション医学会学術集会抄録集を学術集会事務局と共同で、学会誌特別号として発行した。

2) 論文投稿・審査・掲載の状況

- (1) 平成 22 年 1 月から 12 月の間の依頼原稿 1 編を除く投稿原稿は 37 編で、このうち 23 編を採用、21 編を修正後再審査、10 編を不採用とし、4 編の取り下げがあった。
- (2) 第 47 巻の掲載論文は、原著 16 編、短報 4 編、症例報告 3 編、総説 1 編の計 24 編であった。
- (3) 平成 23 年 1 月より 2 月 24 日現在で、5 編の論文が投稿された。

3) 投稿の呼びかけについて

会員への投稿の呼びかけについて、昨年度に引き続き第 47 回学術集会事務局と連絡を取り、発表演題の中から各座長に推薦をいただいた。

4) J-STAGE の電子査読システム運用開始

平成 22 年 11 月 15 日より電子投稿・査読システムを運用開始した。

5) 企画原稿を総説へ勧誘

学術集会、専門医会学術集会の企画記事（教育講演、シンポジウムなど）を、査読ありの総説へ勧誘することとした。

6) 論文賞選考

論文賞選考内規に基づき、平成 23 年 2 月 19 日の論文賞選考委員会ならびにその後のメールによる審議により、最優秀論文賞、優秀論文賞、奨励論文賞の各賞を選定し、役員会に報告した。

❷ 評価・用語委員会報告

担当理事：佐浦隆一

委員長：根本明宜

委員：石合純夫、目谷浩通、太田喜久夫、水尻雄志、泉 從道、殷 祥洙、大沢愛子

1. 委員会の開催

本年度は Web 版リハビリテーション医学用語事典の運用が始まることもあり、委員を 8 名に増員した。委員会は 6 回開催した。その他、委員会用掲示板や電子メールなどによる意見・情報交換を行った。

2. 活動内容

1) Web 版リハビリテーション医学用語事典の作成作業、運用開始

リハビリテーション医学用語集第 7 版で用語が拡大され、編集作業が大変になったこと、用語集の有効利用という観点よりオンライン事典として内容の充実を図り、第 8 版を用意することとした。名称を Web 版リハビリテーション医学用語事典（略称 Web 版リハ用語事典）と定め、システムの開発、内規、執筆要綱の策定作業を行った。認定委員会より 1 語につき 5 単位、年間 20 単位までの認定単位を時限的に認められた。平成 22 年 11 月より運用を開始し、システム登録済の専門医に無作為に 2 語ずつの執筆依頼を行った。執筆依頼の文言に不適切な表現があり、おしかりをいただき、数件お詫びをさせていただいた。約 2700 語の依頼を行い、600 語が解説付きの用語として会員に公開できた。

2) リハビリテーション医学用語集第 7 版の管理と活用
昨年度出版したリハビリテーション医学用語集第 7 版の改訂、用語に関する問い合わせへの対応、ホームページで公開している用語の修正を行った。また、第 7 版から作成した FEP 用の辞書の提供は継続している。

3) リハビリテーション医学用語の標準病名への登録依頼

レセプトオンライン請求で用いられ、電子カルテなどで採用されることの多い MEDIS-DC の標準病名にリハ用語集から平成 20 年度に 115 傷病名の掲載依頼

を行い、掲載に向けて MEDIC-DC との調整を行った。今年度は 11 語の追加が行われ合計で 43 語が標準病名に登録された。

4) 評価法データベース

リハ医学・医療における評価法の動向を知るため、関連和・洋総合誌（7 雑誌）の投稿論文で用いられた各種評価法を抽出しデータベース化し報告していたが、報告は 3 年毎とすることとしており、今年度はアップデート作業を行った。平成 21 年 1 月～12 月に刊行された 7 雑誌を対象に委員で分担して調査を実施した。

事業実施から 10 年になり、これまでの調査を総括する報告の準備を行っている（目谷委員が担当）。

5) 日本医学会用語委員会分科会としての活動

日本医学会用語委員会に参加した。また、日本医学会医学用語集 Web 版の使用が団体利用として正式に認められており、利用について HP で広報している。

6) その他

リハニュース、学会 HP、学会誌で委員会活動について広報を行った。

❸ 教育委員会報告

担当理事：正門由久

委員長：岡島康友（病態別研修会小委員会 豊倉 稔）

委員：池田 聡、小林一成、芳賀信彦、羽田康司、高橋博達、豊倉 稔、寺岡史人、野々垣学、

年度内交替委員：笠井史人

1. 委員会の開催

本年度は 4 回の委員会を開催した。（5 回予定、震災のために 1 回中止）

2. 活動内容

1) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

会員のための研修会として、研修会小委員会の実務のもと、以下の 3 病態のリハビリテーション研修会を企画、開催した。

(a) 「骨関節障害」 11 月 6 日

於：大手町サンケイプラザ 受講者 94 名

(b) 「神経系障害」 12 月 18 日

於：大手町サンケイプラザ 受講者 111 名

(c) 「内部障害」 2 月 19 日

於：大手町サンケイプラザ 受講者 129 名

2) 実習研修会

本年度から研修希望の多い「嚥下障害実習研修会」

を年2回の開催として、8種類9回の実習研修会を共催した。

- (A) 第8回 小児リハビリテーション実習研修会
9月2～4日
於 旭川荘療育センター療育園 受講者 36名
 - (B) 第14回 義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・コース 9月5～6日&10月18日
於 吉備高原医療リハビリテーションセンター&岡山労働基準監督署 受講者 10名
 - (C) 第13回 臨床筋電図・電気診断学入門講習会
10月16～17日
於 慶應義塾大学病院 受講者 48名
 - (D) 第14回 職業リハビリテーション研修会
10月31日～11月1日
於 岡山コンベンションセンター 受講者 13名
 - (E) 第2回および3回 嚙下障害実習研修会
9月25～26日&3月12～13日
於 浜松市リハビリテーション病院 受講者 第2回28名, 第3回中止
 - (F) 第11回 脊損尿路管理研修会 11月20～21日
於 兵庫県立総合リハビリテーションセンター 受講者 20名
 - (G) 第5回 福祉・地域リハビリテーション実習研修会 2月18～19日
於 横浜市総合リハビリテーションセンター 受講者 14名
 - (H) 第4回 動作解析・運動学実習研修会
3月24～26日
於 藤田保健衛生大学医療科学部 中止
- 3) 医学生・研修医リハビリテーションセミナー
- (1) 69施設より開催の申し出があり、春期は7名, ゴールデンウィークは2名, 夏期は19名の参加があった。
 - (2) 参加学生のあった施設にセミナーに関するアンケートを実施した。
 - (3) 参加学生の感想文をリハニュースおよび学会ホームページに掲載した。
 - (4) 平成23年開催に向けて全研修施設に開催の協力を募り, 73施設から協力の返事を得た。春期は49施設, ゴールデンウィークは15施設, 夏期は68施設での開催が可能である。
- 4) 専門医・認定臨床生涯教育研修会
- (1) 地方会の要請を受けて「地方会組織における生涯

教育研修会の実施に関する申し合せ」の一部修正を提案し, 関連委員会の審議に諮った。

- (2) 全国回復期リハ病棟連絡協議会医師研修会を細則2)-c号に該当するものと認め, 理事会の承認を受けた。
 - (3) 細則2)-e号に該当する関連学会, 研究会の申請4件の審査を行った。
 - (4) 細則2)-f号に該当する研修会, 研究会等の53件の審査を行った。
- 5) 大学病院におけるリハ教育・診療体制と臨床研修制度に関するアンケート調査
- (1) 国立43大学, 公立9大学, 私立30大学より大学病院におけるリハ科の卒前教育, 教育に関わる医師スタッフ, 診療に関わる医師・コメディカルスタッフ, 初期研修システムにおけるリハ科研修をアンケート調査した。
 - (2) 結果をJJRMに掲載した。
- 6) リハビリテーション科医育成アクションプランに関連して
- (1) 専門医試験受験支援講座を企画し, 第47回日本リハビリテーション医学会学術集会の会期中に開催した。
- 7) 日本専門医制評価・認定機構の要請に対応して
- (1) 指導医/専門医対象の「医療安全・倫理」研修会を企画し第47回日本リハビリテーション医学会学術集会の会期中に開催した。
 - (2) 指導医マニュアル案を作成し, 認定委員会の審議に諮った。
- 8) その他
- (1) 本学会を含めたりハ関連団体共催の第1回がんりリハビリテーション研修会開催に実務協力をした。
 - (2) 常任理事会の要請で全国の大学医学部を対象にした「大学リハ講座設置の現況と推進」についてのアンケート案を作成した。
 - (3) 日本医師会および常任理事会の要請に呼応して, 非会員医師のためのリハビリテーション・プライマリーケア研修会の平成23年度内開催について検討した。

4 認定委員会報告

担当理事: 浅見豊子

委員長: 山口 淳

委員: 石田健司, 小口和代, 尾花正義, 佐伯 寛,

中島英樹，船越政範，松本真以子，横山 修

1. 委員会の開催

平成 22 年度は年 7 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 専門医の認定及び資格更新について

- (1) 専門医試験を実施し，専門医 62 名を認定した。
- (2) 専門医の資格更新審査を行い，224 名（認定臨床医資格の繰上げ更新を含む同時更新：187 名，専門医資格のみ更新：37 名），資格保留 21 名，辞退等による資格喪失 1 名であった。
- (3) 現在の専門医数は 1789 名（資格保留者を除く）である。

2) 認定臨床医の認定及び資格更新について

- (1) 認定臨床医試験を実施し，認定臨床医 65 名（研修施設での 1 年以上の研修による：44 名，教育研修会・講演の受講と指導責任者の推薦による：21 名）を認定した。
 - (2) 認定臨床医資格のみ保持者の更新審査を行い，資格更新 289 名，資格保留 98 名，辞退等による資格喪失 22 名であった。
 - (3) 現在の認定臨床医数は 3923 名（資格保留者を除く）である。
- ### 3) 指導責任者の認定及び資格更新について
- (1) 指導責任者の申請を審査し，37 名を認定した。
 - (2) 指導責任者の資格更新審査を行い，資格更新 82 名，辞退等による資格喪失 10 名であった。
 - (3) 現在の指導責任者数は 896 名（資格保留者を除く）である。

4) 研修施設の認定及び資格更新について

- (1) 研修施設の申請を審査し，23 施設を認定した。
- (2) 研修施設の年次・更新調査を行い，21 年度分は適格 456 施設，保留 2 施設，不適格 9 施設，22 年度分は適格 491 施設，保留 3 施設，不適格 11 施設であった。
- (3) 現在の研修施設数は 503 施設（資格保留施設を除く）である。
- (4) 研修施設 Web システムを充実させ，新規認定のみならず，更新報告および年次調査のオンライン申請も可能とした。

5) その他

- (1) 「Web 版リハ用語事典」執筆に対して生涯教育履修単位を付与した。
- (2) 専門医試験の受験要件に関わる「地方会における

主演者の学会抄録」を当該地方会による「発表証明書」でもって代替可能とした。

5 試験問題委員会報告

担当理事：出江紳一

委員長：和田 太

委員：飯塚正之，岡崎英人，小林宏高，佐藤新介，新藤恵一郎，関 勝，田中一成，中馬孝容，八幡徹太郎

年度内交替委員：依田光正

1. 委員会の開催

本年度は 7 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 平成 22 年度日本リハビリテーション医学会専門医試験の問題 150 題を作成した。
- 2) 平成 22 年度日本リハビリテーション医学会専門医試験（平成 23 年 3 月 3 日に実施）に臨場した。
- 3) 平成 22 年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験の問題 100 題を作成した。
- 4) 平成 22 年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験（平成 23 年 3 月 3 日に実施）に臨場した。
- 5) 専門医試験問題の学会誌掲載を行った。

6 社会保険等委員会報告

担当理事：吉永勝訓，水落和也

委員長：川手信行

委員：赤星和人，稲川利光，大串 幹，近藤克則，近藤国嗣，木村浩彰，田中宏太佳，菅原英和，染屋政幸，長谷公隆，藤谷順子，森 英二

1. 委員会の開催

本年度は平成 22 年 5 月 7 日，7 月 2 日，9 月 3 日，11 月 5 日，平成 23 年 1 月 7 日，3 月 4 日の 6 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 医療保険に関する活動

(1) 内保連関連

例会，運営会議，呼吸器関連委員会，神経関連委員会，リハ関連委員会に参加し，意見を述べた。また，本年度より検査関連委員会にも委員を派遣し意見交換をした。リハ関連委員会において，平成 24 年度診療報酬改定に向けたリハ関連領域に関する意見交換を行い，現在関連学会・団体と調整中である。

(2) 外保連関連

総会、実務委員会、処置委員会、検査委員会に参加し意見を述べた。本年度より麻酔委員会にも委員を派遣し意見交換をした。また、外保連を通じて平成24年度診療報酬改定に向け、当学会としての提案書を提出すべく調整中である。

(3) 平成22年度リハ医学に関する診療報酬改定について学会誌5月号に報告した。

(4) 平成22年度診療報酬再改定についてのアンケート調査、分析を行い、ホームページおよび学会誌2010年10月号に結果を報告した。

(5) 平成24年度診療報酬改定にむけて

①内保連各委員会、外保連を通じて、提案書を提出すべく、関連団体と意見交換、調整作業をおこなった。(継続中)

②厚生労働省訪問を行い保険局医療課の担当者と面談を行い、平成24年度診療報酬改定に向けて意見交換を行った。

③リハ医学会社会保険モニター担当専門医を対象に、「平成22年度リハ関連診療報酬改定」に関連する事項についての意見を求め、集約した。

④社会保険に関する関連団体との折衝
リハ医療関連5団体協議会(年8回開催)において、リハ関連診療報酬・介護報酬等について議論し、意見を集約した。

⑤「日本整形外科学会・日本リハ医学会社会保険合同会議」にて意見交換を行った。

2) 介護保険に関する活動

(1) 中央社会保障審議会介護保険部会委員の斎藤正身先生に委員会に出席いただき、意見交換を行った。

(2) リハ医学会社会保険モニター担当専門医を対象に「訪問リハ・ステーションについて」の意見を求め、集約した。

(3) リハ医療関連5団体協議会において、「平成24年度介護保険改定」についての意見交換を行った。

(4) 「介護報酬改定におけるリハに関連するアンケート調査結果報告」を、学会誌2010年10月号に報告した。

3) がんのリハビリテーション研修会

(1) 平成22年度診療報酬改定に伴う「がんのリハビリテーション研修会」を日本理学療法士協会・作業療法士協会・言語聴覚士協会・がん看護学会・リハ看護学会と共催で、平成22年7月10日・11日(東

京)、8月21日・22日(福岡)、12月11日・12日(神戸)、平成23年2月26日・27日(東京)にて行った。

7 障害保健福祉委員会報告

担当理事：朝貝芳美

委員長：榎本 修

委員：大仲功一、奥村元昭、篠原裕治、武原 格、古澤一成、松坂誠應

年度内交替委員：伊佐地隆

1. 委員会の開催

本年度は計4回開催した。年度途中で委員の交代があった。

2. 活動内容

1) 障害者自立支援法と障害児・者を取りまく関連制度等の検討

障害者自立支援法関連情報をリハニュースの委員会だよりで4回広報した。内容は4月号：低所得者の補装具等福祉サービス利用者負担が0円、7月号：障害者制度改革推進会議の進捗状況、11月号：歩行器、車載用座位保持いすの基準額が設定、1月号：リハ科医のための障害者支援Q & Aハンドブックである。

委員全員が分担執筆した「リハ科医のための障害者支援Q & Aハンドブック」が完成した。学会ホームページの会員用webシステムページからダウンロードできるように掲載した。

2) 社会参加推進のための障害者スポーツの検討

当委員会の古澤一成委員を委員長として「障害者の体力評価ガイドライン策定委員会」が3回開催され、その進捗状況が報告された。脳卒中と脊髄損傷者の体力評価ガイドラインを検討中であり、平成23年度も引き続き活動して完成させる。

平成23年度に「リハビリテーション科医に対する障害者スポーツに関する実態調査」をwebアンケートで行うことが委員会の方針として決定した。

3) 地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医のあり方の検討

都道府県リハ支援センター、地域リハ広域支援センターと所属するリハ科医師へのアンケート調査を行った。アンケートの回収率が都道府県リハ支援センター96.2%、広域支援センター73.5%であった。所属するリハ科医師からも97名の回答があった。アンケート結果をリハビリテーション医学に報告する。

8 関連機器委員会報告

担当理事：水落和也

委員長：越智文雄

委員：市江雅芳，岩崎紀子，鈴木 禎，高橋紀代，
福田寛二，古川 宏（特別委員）

年度内交替委員：陳 隆明

1. 委員会の開催

本年度は3回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) リハビリテーション医学会員に対して実施した，福祉用具に関するアンケートの結果を集計，分析し，結果をリハビリテーション医学会誌で報告した。患者が使用している福祉用具はおおむね適切に選定されていた。しかしながらリハビリテーション科医がもっと福祉用具選定に関わるべきと考える者が多かった。リハビリテーション医学会からリハビリテーション科医に対して，最新の福祉用具の情報を提供する必要があることがわかった。
- 2) 次年度以降のリハビリテーション機器のリハビリテーション医学会員への紹介方法について検討した。

9 関連専門職委員会報告

担当理事：朝貝芳美

委員長：渡部一郎

委員：染矢富士子，武居光雄，田中尚文，萩野 浩

1. 委員会の開催

本年度は年2回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 関連専門職教育に関するリハ科専門医の役割についてのアンケート調査
当学会リハ科専門医，理学療法士・作業療法士養成校教育担当者（各237校，180校），言語聴覚士・義肢装具士養成校教育担当者（各62校，9校）にアンケート調査を行い，関連専門職養成校教育解析を開始した。一部の結果は2010年度リハニュースと，専門医会（平成22年11月パシフィコ横浜）で発表した。
- 2) 第37 理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会の開催
厚生労働省と医療研修推進財団との共催の上記講習会（東京地区と大阪地区2箇所で開催）の運営に協力した。
- 3) 特定看護師について，情報交換をした。

10 会則検討委員会報告

担当理事：椿原彰夫

委員長：佐直信彦

委員：猪飼哲夫，梅津祐一，高岡 徹，近藤和泉
年度内交替委員：伊勢眞樹

1. 委員会の開催

本年度は1回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 日本リハビリテーション医学会の諸会則の整合性の修正を行い，改定会則は理事会，評議員会及び総会の承認を得た。
- (1) 会則の集大成に向け，会則の5分類（定款，細則，規則，内規，申し合わせ）と議決に関する基準，会則に関する取り決めを定めた平成22年度版「会則に関する取り決め」を決定した。
- (2) 昨年度で全ての会則についての整合性の修正を終了した。平成22年度版「会則に関する取り決め」に従い，最終チェックを行った。改定会則は理事会の承認を得て，平成22年度の評議員会及び総会に提案し，一括承認された。
- 2) 本委員会に依頼のあった会則の整合性の検討は，「会則に関する取り決め」に従い，メールによる審議とし，回答した。
- 3) 医師以外正会員の入会審査が平成18年度から会則検討委員会の任務となったことから，当該内規に従い，入会審査を行った。

11 広報委員会報告

担当理事：菅 俊光

委員長：阿部和夫

委員：安部基幸，伊藤倫之，緒方敦子，数田俊成，
長谷川千恵子，佐々木信幸
年度内交替委員：浅見豊子

1. 委員会の開催

委員会を4回開催した（2010.4.2, 7.3, 10.9, 12.18）

2. 活動内容

- 1) リハニュースの発行
(1) 45号（2010.4.15：関連職教育の問題点），46号（7.11：若手リハビリテーション科医師座談会），47号（10.15：理事長挨拶 未来に向けて），48号（2011.1.15：障害者国体を知っていますか？）を発行した。
- (2) リハ医育成アクションプランを意識して，46号

でははじめての試みとして、若手リハビリテーション医師の座談会を行った。今後も会員参加型のコンテンツを掲載していく予定である。

- (3) 特別編集とした44号については、リハ医育成アクションプランに準拠し、医学生・研修医に向けたパンフレットとして利用できるように内容の見直しと更新を行い、「リハビリテーション医学ガイド」として増刷をした。今後も定期的に改訂を行う予定である。

2) ホームページ運用

- (1) 新規/修正あわせて87件に対応した(2.3現在)。これは、昨年度の同時期に比較して約3割増加している。

- (2) データマネジメント特別委員会の要請に基づいて、データベースの案内およびリンクを作成した。

3) 広報ブース出展

- (1) 第83回日本整形外科学会学術総会(東京国際フォーラム)の「運動器の10年」世界運動(2000-2010)記念イベントでブース出展を行った。

4) その他

- (1) 広報パンフレットとして「リハビリテーション医学ガイド」を全国の医学部、及び研修指定病院に配布した。

- (2) 学協会情報発信サービスのホームページ構築・提供支援の終了に伴い学会サーバーへのデータの移行について検討を行い、株式会社ダイナコムに依頼をした。

12 国際委員会報告

担当理事：才藤 栄一

委員長：志波直人

委員：青木隆明，池田 聡，花山耕三，松永秀樹

年度内交替委員：佐浦 隆一，森原 徹，吉田 清和(アドバイザー)

1. 委員会の開催

本年度は年3回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 平成22年度海外研修助成プログラムの実施

竹内直行先生(北大病院)，小金丸聡子先生(関西リハ病院)，水野勝広先生(村山医療センター)，小川真司先生(日本医大北総病院)の4名を助成し，平成22年度内に海外研修(学会発表・施設訪問)が実施された。また，第2回AOCPRM台北に参加の，栗原

由佳先生(東海大学八王子病院)，若林秀隆先生(横浜市大市民総合医療センター)，高田薫子先生(横浜市大病院)の3名を特別助成した。

2) 平成22年度外国人リハ医師短期交流助成プログラムの実施

Nail Segal 先生(米国 Iowa Univ. Dept of Orthopaedics and Rehabilitation)とLee/Young-Hee 先生(韓国 Yonsei Univ. リハ科教授)の2名が承認され，平成22年度内に交流が実施された。

3) Honorary/Corresponding Member との連携体制

Honorary/Corresponding Member は，学会終了後に英文の本学会の年間活動報告(総会資料抜粋)し，12月にグリーティングカードおよび記念品(カレンダーなど)を送付した。これに対し，複数のお礼などの返信があり，音信不通や所在不明のMemberの所在確認も完了した。

4) Honorary/Corresponding Member の拡充

欧米やアジア地域のリハ医学会とその指導者の情報を集め，Honorary/Corresponding Member 候補の探索を行なったが，本年度の新たなMember承認はなし。

5) アジア・オセアニア地区リハビリテーション医学会議(AOCPRM)

第2回(2010年4月29日～5月2日)台北で開催された。第3回(2012年5月)バリ島で開催予定。

6) 日韓合同カンファレンスについて

韓国側が持ち帰って協議中であるが，その後の進展はなし。

7) その他

国際委員会委員会としての業務内容の確認と，広報委員会と共同で，英文ホームページを作成しているが，海外リハビリテーション医師交流制度に関する内容の充実など随時必要な更新を行い，海外会員への情報発信を行うなど，今後も引き続き，未だ不十分な現在の内容を見直して，刷新する。

13 診療ガイドライン委員会報告

担当理事：生駒一憲

委員長：辻 哲也

コア委員：中馬孝容，高橋秀寿，上月正博，古澤一成，花山耕三

1. 委員会の開催

計19回の委員会を開催した(コア委員会4回，脳

卒中治療ガイドライン策定委員会3回、脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会2回、障害者体力評価ガイドライン策定委員会4回、神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会3回、がんのリハビリテーション策定委員会3回、電子会議も含む）。

2. 活動内容

- 1) 脳卒中治療ガイドライン策定委員会では、「脳卒中治療ガイドライン 2009」を本学会会員ホームページ上に掲載し、パブリックコメントを募集した。寄せられた意見は、次回の改定版に反映させる予定。また、英文化作業が進行中。
- 2) 脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会では、第2版の作成に向けて活動を開始。第40回本学会学術集会の会期中にガイドライン作成に関するワークショップを開催した。また、関連学会・施設にアンケートを送付し、リサーチクエスチョンに関して多くの提案を得た。今後はリサーチクエスチョンを絞り込み、文献検索を開始する予定。
- 3) 呼吸リハビリテーションガイドライン作成委員会では、呼吸リハビリテーションガイドライン第2版作成に向け、活動を再開する予定。
- 4) リハビリテーション連携パス策定委員会では、「脳卒中地域連携パスに関する指針」の最終案が完成した。評議員に対してパブリックコメントを求め、合意が得られたため、平成22年6月に本学会ホームページ上に公開された。また、ダイジェスト版が学会誌（平成22年7月号）に掲載された。
- 5) 障害者体力評価ガイドライン策定委員会では、ガイドラインの作成に向けて活動を開始した。脊髄損傷と脳卒中について文献検索の作業が継続中。今後は、構造化抄録を作成していく予定。
- 6) 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会では、ガイドラインの作成に向けて活動を開始した。関連学会・施設にアンケートを送付、それらを参考の上、ガイドラインの策定方針が決定された。今後は、リサーチクエスチョンの抽出・整理を行う予定。また、第48回本学会学術集会において、シンポジウムを企画中。
- 7) がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会が平成22年3月に新たに設置され、ガイドラインの作成に向けて活動を開始した。本策定委員会は

平成22年度厚生労働科学研究補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）「がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究（主任研究者 辻哲也）」として実施されている。

- 8) 臨床研究・調査のためのガイドライン策定委員会では、脳卒中に関する臨床研究・調査のためのガイドラインを作成し、これに準拠したリハ医学会抄録の解析などを行ってきた。データマネジメント特別委員会に本事業の運営が発展的に引き継がれ、本策定委員会はその役割を終えたことから、平成22年9月に解散した。

Ⅲ システム委員会報告

担当理事：菅 俊光

委員長：園田 茂

委員：佐伯 覚、船越政範、青柳陽一郎、伊藤倫之
特別委員：下堂蘭恵、山田 深、飛松好子

1. 委員会の開催

委員会を2010.5.21（鹿児島サンロイヤルホテル）で、インターネット会議として5回開催した（2010.3.19-4.10, 4.22-5.7, 7.30-9.20, 9.28-11.15, 12.13-2011.1.14）。

2. 活動内容

1) システムの改良

web アンケートの機能拡張（一時保存機能）などのシステム改良議論を開始した。ダイナコム の 掲 示 板 転 送 シ ス テ ム 構 築 ミ ス（委員会を抜けた先生にも掲示板内容転送メールが発信されていた）を修正した。会員ページの左メニューに「会員参加型コンテンツ」を追加することで Web 版リハビリテーション医学用語事典への入口を提供した。リハ学会 web アンケートの入口の対象条件設定自由度を拡大した。

2) システム運営

システムに関する機能調整を各委員会と行った。小児リハビリテーション SIG コアメンバー用と小児リハビリテーション SIG 全メンバー用の二つの掲示板をメンバー内の書き込みメール転送機能つきで作成した。掲示板に関する依頼フォーム、手順、掲示板メンバー変更の場合の対応を定めた。掲示板使用説明を掲示板一覧ページに掲示した。

3) システムの普及活動

第48回学術集会の演題登録においても、会員用 Web システムのトップページ（お知らせ欄）を経由

して行う仕組みにしてもらい、会員のシステム登録を促した。

4) システム登録者数

平成 23 年 3 月 31 日現在、4,324 名である。

15 専門医会報告

幹事長：菊地尚久

副幹事長：近藤和泉，佐伯 覚

幹 事：青柳陽一郎，池田 聡，石合純夫，大串幹，大田哲生，笠井史人，八幡徹太郎

年度内交替幹事：浅見 豊子，菅 俊光，菅原英和，正門由久

1. 総会，学術集会，幹事会の開催

本年度は総会 2 回（定例 1 回，臨時 1 回），学術集会 1 回，幹事会 5 回を開催した。その他，幹事会専用掲示板にて議論，情報交換等を行った。

2. 活動内容および報告

1) 総会（平成 22 年 5 月および 11 月）

平成 22 年 5 月 21 日の第 47 回日本リハビリテーション医学会学術集會中に臨時総会を開催した。議題は①専門医会規則および次期幹事選挙に関して，②第 5 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況について，③第 6 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況について，④ RJN 活動報告，⑤小児リハ SIG，基礎研究 SIG 活動報告，⑥専門医としての学生・初期研修医に対する教育および広報活動，⑦地方会における専門医交流，⑧リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑨第 7 回リハビリテーション科専門医会学術集会代表世話人選出であった。

平成 22 年 11 月 20 日の第 5 回日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医会学術集會中に定例総会を開催した。議題は①次期幹事選挙結果として次期幹事候補者に青柳陽一郎，池田聡，石合純夫，大串幹，大田哲生，笠井史人，菊地尚久，近藤和泉，佐伯覚，八幡徹太郎が選出されたこと，②第 6 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，③第 7 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，④ RJN 活動報告，⑤小児リハ SIG，基礎研究 SIG 活動報告，⑥リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑦第 48 回年次学術集会における専門医会企画，⑧専門医会研究補助金設立，⑨データマネジメントに関してであった。

2) 幹事会

平成 22 年 5 月 20 日に鹿児島サンロイヤルホテルにて第 1 回幹事会を開催した。議題は①専門医会規則および次期幹事選挙に関して，②第 5 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，③第 6 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，④ RJN 活動報告，⑤小児リハ SIG，基礎研究 SIG 活動報告，⑥専門医としての学生・初期研修医に対する教育および広報活動，⑦地方会における専門医交流，⑧リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑨専門医背景調査，⑩第 7 回リハビリテーション科専門医会学術集会代表世話人選考，⑪来年度年次学術集会における専門医会企画，⑫専門医会研究補助金の設立であった。

平成 22 年 9 月 10 日に東京八重洲倶楽部にて第 2 回幹事会を開催した。議題は①次期幹事選挙に関して，②第 5 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，③第 6 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，④第 7 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，⑤ RJN 活動報告，⑥小児リハ SIG，基礎研究 SIG 活動報告，⑦専門医としての学生・初期研修医に対する教育および広報活動，⑧リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑨第 48 回年次学術集会における専門医会企画，⑩専門医会研究補助金設立，⑪学会データマネジメント特別委員会に関して，⑫専門医背景調査，⑬設立 50 周年記念事業における専門医会の役割であった。

平成 22 年 11 月 20 日にパシフィコ横浜にて第 3 回幹事会を開催した。議題は①次期幹事選挙結果，②第 6 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，③第 7 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，④ RJN 活動報告，⑤小児リハ SIG，⑥専門医としての学生・初期研修医に対する教育および広報活動，⑦リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告，⑧専門医会研究補助金設立，⑨データマネジメントに関して，⑩専門医背景調査，⑪設立 50 周年記念事業における専門医会の役割であった。

平成 22 年 11 月 21 日にパシフィコ横浜にて第 4 回幹事会を開催した。議題は①幹事長および副幹事長の互選で，菊地尚久が幹事長に互選され，副幹事長に近藤和泉，佐伯覚が選任された。その他の議題は②今後の活動に関して，③リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 特別委員の推薦であった。

平成 23 年 2 月 13 日に(社)日本リハビリテーション医学会事務局にて第 5 回幹事会を開催した。議題は①平成 23 年度活動計画(案)、予算調書(案)、②第 6 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況、③第 7 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況、④第 8 回リハビリテーション科専門医会学術集会代表世話人の選考、⑤ RJN 活動報告、⑥小児リハ SIG、基礎研究 SIG 活動報告、⑦脊髄障害 SIG、切断・義肢 SIG、ポリオ後症候群 SIG の活動計画、⑧専門医としての学生・初期研修医に対する教育・広報活動、⑨リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告、⑩リハ科専門医の教育体制と社会的ニーズに関する調査の活動計画、⑪専門医会研究補助金、⑫第 48 回年次学術集会における専門医会企画、⑬地方会における専門医交流、⑭専門医間の交流促進の活動計画、⑮リハ科専門医に必要な手技に関するハンズオンセミナー活動計画、⑯学会データベースの活用、⑰設立 50 周年記念事業への協力、⑱専門医・指導責任者について：教育委員会からの提言作成依頼であった。

3) 第 5 回専門医会学術集会の開催

上述した総会、幹事会とともに、平成 22 年 11 月 20 日、21 日にパシフィコ横浜にて第 5 回専門医会学術集会が菊地尚久代表世話人により開催され、盛会のうちに閉会した。

審議事項

1. 平成 22 年度事業報告及び収支決算報告

平成 22 年度事業報告について、庶務担当の赤居常任理事から説明が行われ、原案どおり承認された。

関連して、リハビリテーション医育成アクションプラン策定ワーキンググループ担当の上月常任理事から、専門医の認定に関する内規の一部改正について説明が行われ、原案どおり承認された。

次に、平成 22 年度収支決算報告について、財務担当の上月常任理事から説明が行われ、引き続き住田監事、木村監事から、平成 22 年度の業務執行及び財産の状況に係る監査を実施した結果、適正に処理されていると認める旨の報告が行われ、原案どおり承認された。(表 1～5)

平成 22 年度 事業報告

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

1. 会員現況

	平成 23 年 3 月 31 日	平成 22 年 3 月 31 日	増 減
会員総数	9,687 名	9,742 名	△ 55 名
医 師	9,492 名	9,542 名	△ 58 名
医師以外	195 名	200 名	△ 5 名

(名誉会員含)
新入会 419 名
退 会 474 名

物故会員 (敬称略)

川北 篤、玉木 昭彦、白坂健一郎、高木 宏、
長島 弘明、村岡 浄明、大西 俊郎、深瀬 宏、
丸川 晃一、勅使河原 順三、蓮江 国彦、
前田 建生、金原 宏之、西間木秀雄、齋藤 彊、
岩田 修二、藤原 誠、濱田 毅、笠松 高行、
高橋 力、松尾 澄正

2. 役員、評議員、各種委員会委員

役 員：理事長 1 名、常任理事 3 名、理事 12 名、監事 2 名、幹事 4 名

評議員：193 名

各種委員会委員：編集委員会 10 名、評価・用語委員会 8 名、教育委員会 9 名、認定委員会 9 名、試験問題作成委員会 10 名、社会保険等委員会 13 名、障害保健福祉委員会 7 名、関連機器委員会 7 名、関連専門職委員会 5 名、会則検討委員会 5 名、広報委員会 7 名、国際委員会 5 名、診療ガイドライン委員会 6 名、システム委員会 7 名

3. 学術集会の開催について

1) 第 47 回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成 22 年 5 月 20 日、21 日、22 日の 3 日間、鹿児島市民文化ホールに於いて開催した。

2) 第 5 回専門医会学術集会を、平成 22 年 11 月 20 日、21 日の 2 日間、パシフィコ横浜に於いて開催した。

4. 諸会議

1) 通常総会の開催：平成 22 年 5 月 20 日

2) 評議員会の開催：平成 22 年 5 月 19 日、平成 22 年 11 月 21 日 (臨時)

3) 理事会の開催：第 1 回 平成 22 年 4 月 17 日

第 2 回 平成 22 年 5 月 19 日

第 3 回 平成 22 年 5 月 20 日

▶表 1

貸 借 対 照 表

(平成23年 3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,238,751	39,848,259	△ 31,609,508
未収金	2,364,535	8,550	2,355,985
前払金	5,000,000	5,000,000	0
前払費用	22,665	22,665	0
流動資産合計	15,625,951	44,879,474	△ 29,253,523
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
学術研究助成資産	80,000,000	80,000,000	0
学術集会事業積立資産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	3,558,180	2,560,800	997,380
特定資産合計	93,558,180	92,560,800	997,380
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	4,946,445	222,600	4,723,845
保証金	1,050,000	1,050,000	0
その他固定資産合計	5,996,445	1,272,600	4,723,845
固定資産合計	199,554,625	193,833,400	5,721,225
資 産 合 計	215,180,576	238,712,874	△ 23,532,298
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,305,504	1,302,424	1,003,080
預り金	431,140	576,380	△ 145,240
未払住民税	70,000	70,000	0
未払消費税等	0	430,300	△ 430,300
流動負債合計	2,806,644	2,379,104	427,540
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,558,180	2,560,800	997,380
固定負債合計	3,558,180	2,560,800	997,380
負債合計	6,364,824	4,939,904	1,424,920
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	208,815,752	233,772,970	△ 24,957,218
(うち特定資産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(90,000,000)	(90,000,000)	(0)
正味財産合計	208,815,752	233,772,970	△ 24,957,218
負債及び正味財産合計	215,180,576	238,712,874	△ 23,532,298

第4回 平成22年7月24日

出席者数 51名

第5回 平成22年9月25日

○第22回北海道地方会

臨時 平成22年10月25日

開催日 平成22年9月11日

第6回 平成22年11月27日

開催場所 ムトウビル6階

第7回 平成23年1月22日

出席者数 63名

第8回 平成23年3月12日(中止)

(2) 東北地方会

4) 地方会総会・学術集会の開催

○第28回東北地方会

(1) 北海道地方会

開催日 平成22年9月11日

○第21回北海道地方会

場所場所 青森市民ホール1階第1会議室

開催日 平成22年4月24日

出席者数 64名

開催場所 札幌医科大学記念ホール

○第29回東北地方会(中止)

開催日 平成 23 年 3 月 19 日
開催場所 仙台情報・産業プラザ AER
出席者数

(3) 関東地方会

○第 46 回関東地方会学術集会

開催日 平成 22 年 9 月 11 日
開催場所 野口英世記念会館 講堂
出席者数 245 名

○第 47 回関東地方会学術集会

開催日 平成 22 年 12 月 4 日
開催場所 東京大学鉄門記念講堂
出席者数 195 名

○第 48 回関東地方会学術集会 (中止)

開催日 平成 23 年 3 月 19 日
開催場所 東京慈恵会医科大学 1 号館 3 階講堂
出席者数

(4) 北陸地方会

○第 28 回北陸地方会総会

開催日 平成 22 年 9 月 18 日
開催場所 ホテル金沢
出席者数 41 名

○第 29 回北陸地方会総会

開催日 平成 23 年 3 月 26 日
開催場所 ホテル金沢
出席者数 50 名

(5) 中部・東海地方会

○第 27 回中部・東海地方会総会

開催日 平成 22 年 8 月 28 日
開催場所 大正製薬名古屋支店
出席者数 41 名

○第 28 回中部・東海地方会

開催日 平成 23 年 2 月 5 日
開催場所 大正製薬名古屋支店
出席者数 47 名

(6) 近畿地方会

○第 29 回近畿地方会学術集会

開催日 平成 22 年 9 月 11 日
開催場所 神戸国際会議場
出席者数 219 名

○第 30 回近畿地方会学術集会

開催日 平成 23 年 3 月 12 日
開催場所 京都大学芝蘭会館稲盛ホール
出席者数 127 名

(7) 中国・四国地方会

○第 25 回中国・四国地方会総会

開催日 平成 22 年 6 月 27 日
開催場所 米子コンベンションセンター
出席者数 125 名

○第 26 回中国・四国地方会総会

開催日 平成 22 年 12 月 5 日
開催場所 県立広島大学三原キャンパス
出席者数 145 名

(8) 九州地方会

○第 28 回九州地方会

開催日 平成 22 年 9 月 5 日
開催場所 アバンセ
出席者数 182 名

○第 29 回九州地方会

開催日 平成 23 年 2 月 20 日
開催場所 ビーコンプラザ (別府国際コンベンションセンター)
出席者数 165 名

5) 専門医会

①専門医会学術集会を 1 回開催した。

②専門医会総会 (定例 1 回, 臨時 1 回) と幹事会を 5 回開催した。また, 幹事会専用掲示板で, 議論, 情報交換等を行った。

6) 地方会連絡協議会

平成 22 年, 23 年度開催の市民公開講座開催地及びリハ学会 50 周年事業について, 評議員選挙について, 公益法人化に向けての地方会の位置づけと区域割りにについて検討を行った。

7) 各種委員会の開催

① 編集委員会	6 回
② 評価・用語委員会	5 回
③ 教育委員会	4 回
④ 認定委員会	7 回
⑤ 試験問題委員会	7 回
⑥ 社会保険等委員会	6 回
⑦ 障害保健福祉委員会	4 回
⑧ 関連機器委員会	3 回
⑨ 関連専門職委員会	2 回
⑩ 会則検討委員会	全てメール審議
⑪ 広報委員会	4 回
⑫ 国際委員会	3 回
(3 回目はメール審議)	

▶表 2

正味財産増減計算書

(平成22年 4 月 1 日から平成23年 3 月31日まで)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	116,148,000	116,100,000	48,000
正会員受取会費	116,148,000	116,100,000	48,000
② 事業収益	127,844,228	135,328,451	△ 7,484,223
学術集会事業収益	76,374,184	82,691,343	△ 6,317,159
会誌等発行事業収益	13,517,044	12,044,218	1,472,826
専門医等認定事業収益	17,730,000	28,380,000	△ 10,650,000
研修会事業収益	11,302,000	5,980,890	5,321,110
専門医会収益	8,921,000	6,232,000	2,689,000
③ 基本財産等運用益	479,999	590,412	△ 110,413
基本財産受取利息	399,999	350,412	49,587
学術研究助成基金受取利息	80,000	240,000	△ 160,000
④ 受取補助金等	13,632,550	12,310,223	0
受取国庫補助金	13,337,000	12,075,000	1,262,000
受取民間助成金	295,550	235,223	60,327
⑤ 雑収益	1,036,479	724,991	311,488
受取利息	28,864	55,254	△ 26,390
雑収益	1,007,615	669,737	337,878
経常収益計	259,141,256	265,054,077	△ 5,912,821
(2) 経常費用			
① 事業費	206,808,401	195,609,253	11,199,148
学術集会事業費	75,702,615	79,863,995	△ 4,161,380
抄録集作成費	4,722,684	4,969,257	△ 246,573
会誌発行費	37,214,418	35,022,536	2,191,882
リハニュース発行費	4,602,150	5,609,411	△ 1,007,261
各種委員会旅費・会場費	9,027,812	10,380,849	△ 1,353,037
各種委員会経費	3,977,046	4,025,130	△ 48,084
専門医等認定事業費	12,005,461	10,293,760	1,711,701
実習研修事業費	791,668	848,180	△ 56,512
研修会事業費	12,227,068	6,897,283	5,329,785
データマネジメント事業費	13,337,000	12,075,000	1,262,000
DVD作製費	2,957,875	0	2,957,875
海外研修助成金	1,850,000	1,900,000	△ 50,000
優秀論文表彰金	300,000	400,000	△ 100,000
リハ啓発活動事業費	2,207,192	2,275,030	△ 67,838
地方会事務局運営補助金	7,960,000	7,960,000	0
診療ガイドライン策定費	4,818,337	4,812,891	5,446
専門医会経費	13,107,075	8,275,931	4,831,144
② 管理費	77,290,073	71,733,909	5,556,164
給料手当	34,426,454	28,216,537	6,209,917
退職給付費用	997,380	945,180	52,200
福利厚生費	4,666,584	3,486,953	1,179,631
総会費	1,701,945	1,611,527	90,418
理事会費	12,753,908	10,158,455	2,595,453
旅費交通費	1,086,952	545,890	541,062
顧問料	2,772,000	2,835,000	△ 63,000
ホームページ維持管理費	682,290	1,300,215	△ 617,925
通信運搬費	1,709,513	4,718,228	△ 3,008,715
情報関連整備費	1,188,142	2,688,704	△ 1,500,562
什器備品費	1,113,530	162,964	950,566
消耗品費	632,013	551,238	80,775
印刷製本費	1,623,234	2,854,110	△ 1,230,876
光熱水料費	565,060	553,059	12,001
賃借料	5,417,786	5,273,304	144,482
租税公課	462,600	896,500	△ 433,900
負担金	2,930,425	2,642,150	288,275
支払手数料	1,657,483	1,566,391	91,092
減価償却費	66,780	66,780	0
雑費	835,994	660,724	175,270
経常費用計	284,098,474	267,343,162	16,755,312
当期経常増減額	△ 24,957,218	△ 2,289,085	△ 22,668,133

⑬ 診療ガイドライン委員会 17 回
(策定委員会含む)

⑭ システム委員会 7 回
(3 回目以外はメール審議)

8) 50 周年記念事業実行委員会

平成 22 年 7 月の理事会で設置が承認され、計 6 回の実行委員会を開催した。記念式典を第 50 回学術集会(2013 年、北京 ISPRM の年)に開催すること、前後 5 年間で記念事業期間として、学会のアクティビティを高めるような事業を実施することを決定し、具

体的な事業内容を検討した。

9) ワーキンググループ

① リハ医育成アクションプラン策定 WG

平成 22 年 1 月の理事会で、リハ医育成アクションプラン策定 WG で検討された専門医の増加促進策等の提案をした。

② データマネジメント WG

平成 22 年 7 月の理事会で、データマネジメント WG を改組し、データマネジメント特別委員会の設置が承認された。また、前年度に引き続き、平

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 24,957,218	△ 2,289,085	△ 22,668,133
一般正味財産期首残高	233,772,970	236,062,055	△ 2,289,085
一般正味財産期末残高	208,815,752	233,772,970	△ 24,957,218
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高	208,815,752	233,772,970	△ 24,957,218

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給付引当金……職員が全員退職した場合の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
学術研究助成資産	80,000,000	0	0	80,000,000
学術集会事業積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
退職給付引当資産	2,560,800	997,380	0	3,558,180
小計	92,560,800	997,380	0	93,558,180
合計	192,560,800	997,380	0	193,558,180

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する金額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
小計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
特定資産				
学術研究助成資産	80,000,000	(0)	(80,000,000)	—
学術集会事業積立資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
退職給付引当資産	3,558,180	(0)	(0)	(3,558,180)
小計	93,558,180	(0)	(90,000,000)	(3,558,180)
合計	193,558,180	(0)	(190,000,000)	(3,558,180)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	7,232,400	2,285,955	4,946,445
合計	7,232,400	2,285,955	4,946,445

▶表 3

財 産 目 録

(平成23年 3月31日現在)

(単位：円)

科 目		金 額	
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高		112,186	
振替貯金		1,153,058	
郵便貯金	通常貯金	1,417,731	
普通預金	三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店	3,724,342	
同	三井住友銀行 千 川 支店	137,732	
同	東京シティ信用金庫 神 楽 坂 支 店	1,693,702	
未収金	DVD著作権料他 (株)医学映像教育センター他	2,340,735	
	消費税中間納付還付額	23,800	
前払費用	ドメイン管理料他	22,665	
前払金	次年度学術集会運営費	5,000,000	
流動資産合計			15,625,951
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	三菱UFJ信託銀行 池袋支店 定期預金	100,000,000	
基本財産合計		100,000,000	
(2) 特定資産			
学術研究助成資産	三菱UFJ信託銀行 池袋東口支店 定期預金	80,000,000	
学術集金事業積立資産	三井住友銀行 千川支店 定期預金	10,000,000	
退職給付引当資産	東京シティ信用金庫 神楽坂支店 普通預金	3,558,180	
特定資産合計		93,558,180	
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	DVD「病態別実践的医学研修会」	4,790,625	
	会計ソフト	155,820	
保証金	事務局賃貸契約	1,050,000	
その他固定資産合計		5,996,445	
固定資産合計			199,554,625
資産合計			215,180,576
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	学会誌発送費他	2,305,504	
預り金	職員に対する源泉所得税他	431,140	
未住民税	法人住民税均等割	70,000	
流動負債合計			2,806,644
2. 固定負債			
退職給付引当金		3,558,180	
固定負債合計			3,558,180
負債合計			6,364,824
正味財産			208,815,752

成 22 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金の交付を受け「リハビリテーションの提供に係る総合的な調査事業」を実施した。

③選挙の在り方に関する検討委員会

平成 22 年 11 月の理事会で、役員等の選挙に関する組織について検討を行い「選挙の在り方に関する検討委員会」の設置が承認された。

④公益法人制度に伴う WG

22 年度に 4 回 WG を開催し、今後のタイムテーブル、他学会の状況、公益法人と一般社団法人の比較、代議制導入及び定款の変更案の検討を行った。

⑤専門医制度改革対応 WG

平成 22 年 11 月の理事会で、専門医制度改革対応 WG の設置が承認された。

5. 辞令発送について

理事長名で辞令発送

各種委員会委員（特別委員等を含む） 344 名

6. 後援、協賛等依頼

1) 第 37 回国際福祉機器展 H.C.R.2010 協賛

(全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会)

2) ヒューマンインタフェースシンポジウム 2010 協賛

(ヒューマンインタフェース学会)

3) SIG 姿勢保持講習会 2010

協賛

(日本リハビリテーション工学協会 SIG「姿勢

- 保持)」
- 4) 第 25 回生体・生理工学シンポジウム 協賛
(社団法人計測自動制御学会)
 - 5) 朝日健康長寿セミナー「骨粗鬆症の治療意義と
治療戦略最前線」 後援
(朝日新聞社)
 - 6) 第 25 回リハ工学カンファレンス 協賛
(日本リハビリテーション工学協会)
 - 7) 生体医工学シンポジウム 2010 協賛
(社団法人日本生体医工学学会)
 - 8) HOSPEX JAPAN 2010 (第 39 回日本医療福祉設
備学会 併設展示会) 協賛
(一般社団法人日本医療福祉設備協会, 社団法
人日本能率協会)
 - 9) 平成 22 年度義肢装具等適合判定医師研修会 (第
68 回) 後援
(厚生労働省)
 - 10) 第 33 回てんかん基礎講座 協賛
(社団法人日本てんかん協会)
 - 11) 第 6 回長寿医療研究センター国際シンポジウム
後援
(独立行政法人国立長寿医療研究センター)
 - 12) シンポジウム「モバイル 11」 協賛
(特定非営利活動法人モバイル学会)
 - 13) きょうされん第 33 回全国大会 in ふくおか 後援
(きょうされん)
 - 14) 第 2 回日本ニューロリハビリテーション学会 後援
(日本ニューロリハビリテーション学会)
 - 15) 第 45 回日本理学療法士協会全国学術研修大会
後援
(社団法人日本理学療法士協会)
 - 16) 日本てんかん協会第 37 回全国大会熊本大会 協賛
(社団法人日本てんかん協会)
 - 17) 第 60 回日本理学療法学会 後援
(社団法人全国病院理学療法協会)
 - 18) 希望ある健康高齢化社会の実現に向けて
「予防・介護・リハビリ科学・技術の高度事業
化」発表交流会 後援
(京都市, 財団法人京都高度技術研究所, 京都
バイオ産業技術フォーラム)
 - 19) 第 22 回バイオメカニズム学会 協賛
(バイオメカニズム学会)
 - 20) 第 45 回日本作業療法学会 後援
(社団法人日本作業療法士協会)
 - 21) 第 46 回日本理学療法学会 後援
(社団法人日本理学療法士協会)
 - 22) 日本人間工学会第 52 回大会 協賛
(一般社団法人日本人間工学会)
 - 23) 第 17 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学
会学術大会 後援
(日本摂食・嚥下リハビリテーション学会)
 - 24) 第 32 回バイオメカニズム学術講演会 協賛
(バイオメカニズム学会)
 - 25) リハビリテーション・ケア合同研究大会 くま
もと 2011 後援
(日本リハビリテーション病院・施設協会, 全
国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会,
全国地域リハビリテーション研究会, 全国訪問
リハビリテーション研究会全国老人デイ・ケア
連絡協議会, 全国地域リハビリテーション支援
事業連絡協議会)
- ## 7. 会誌の発行
- 会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」
第 47 巻第 4 号～第 12 号, 特別号 (抄録集), 第 48 巻
第 1 号～第 3 号計 13 冊を発行した。
- ## 8. リハニュースの発行
- 年 4 回発行した。(平成 22 年 4 月から第 45 号～第
48 号まで)
- ## 9. ホームページの管理・運営
- 新規/修正あわせて 87 件に対応した。これは、昨年
度の同時期に比較して約 3 割増加している。データマ
ネジメント特別委員会の要請に基づいて、データベ
ースの案内およびリンクを作成した。
- ## 10. 教育及び研修
- 1) 卒後実習研修会
 - ・脊損尿路管理研修会
期日：平成 22 年 11 月 20 日～21 日
会場：兵庫県立総合リハビリテーションセン
ター中央病院福祉のまちづくり工学研究
所
受講者数：20 名
 - ・義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・
コース
期日：平成 22 年 9 月 5 日～6 日・10 月 18 日
会場：岡山コンベンションセンター・岡山労働
基準監督署

▶表 4

収 支 計 算 書

(平成22年 4 月 1 日から平成23年 3 月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	115,500,000	116,148,000	△ 648,000	
正会員会費収入	115,500,000	116,148,000	△ 648,000	
② 事業収入	112,919,000	127,844,228	△ 14,925,228	
学術集会事業収入	66,059,000	76,374,184	△ 10,315,184	
参加費収入	34,890,000	36,325,000	△ 1,435,000	
抄録集販売収入	900,000	1,059,128	△ 159,128	
展示収入	7,743,000	9,486,556	△ 1,743,556	
広告料収入	1,376,000	1,459,500	△ 83,500	
協賛金等収入	20,310,000	27,270,000	△ 6,960,000	
共同演者申込料収入	840,000	774,000	△ 66,000	
会誌等発行事業収入	13,300,000	13,517,044	△ 217,044	
別刷収入	700,000	1,550,560	△ 850,560	
広告料収入	4,000,000	2,391,900	1,608,100	
会誌販売収入	7,600,000	6,323,385	1,276,615	
著作権料収入	1,000,000	3,251,199	△ 2,251,199	
専門医等認定事業収入	18,360,000	17,730,000	630,000	
審査料収入	5,360,000	4,990,000	370,000	
登録料収入	3,000,000	2,420,000	580,000	
更新料収入	10,000,000	10,320,000	△ 320,000	
研修会事業収入	11,000,000	11,302,000	△ 302,000	
専門医会収入	4,200,000	8,921,000	△ 4,721,000	
③ 基本財産等運用収入	600,000	479,999	120,001	
基本財産利息収入	300,000	399,999	△ 99,999	
学術研究助成基金利息収入	300,000	80,000	220,000	
④ 助成金収入	0	13,632,550	△ 13,632,550	
国庫補助金収入	0	13,337,000	△ 13,337,000	
民間助成金収入	0	295,550	△ 295,550	
⑤ 雑収入	190,000	1,036,479	△ 846,479	
受取利息収入	90,000	28,864	61,136	
雑収入	100,000	1,007,615	△ 907,615	
事業活動収入計	229,209,000	259,141,256	△ 29,932,256	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	188,419,000	211,599,026	△ 23,180,026	
学術集会事業費支出	66,059,000	75,702,615	△ 9,643,615	
会場費支出	25,200,000	24,626,253	573,747	
運営費支出	30,459,000	34,593,178	△ 4,134,178	
印刷・通信費支出	4,700,000	5,428,533	△ 728,533	
会議費等支出	1,000,000	1,992,556	△ 992,556	
事務局経費支出	4,700,000	9,062,095	△ 4,362,095	
抄録集作成費支出	5,000,000	4,722,684	277,316	
会誌発行費支出	35,000,000	37,214,418	△ 2,214,418	
リハニュース発行費支出	4,800,000	4,602,150	197,850	
各種委員会旅費・会場費支出	13,000,000	9,027,812	3,972,188	
各種委員会経費支出	3,000,000	3,977,046	△ 977,046	
専門医等認定事業支出	9,000,000	12,005,461	△ 3,005,461	
実習研修事業支出	1,600,000	791,668	808,332	
研修会事業支出	8,400,000	12,227,068	△ 3,827,068	
DVD作製費支出	9,000,000	7,748,500	1,251,500	
パーソナル事業費支出	5,000,000	13,337,000	△ 8,337,000	
名簿作成費支出	5,000,000	0	5,000,000	
海外研修助成金支出	2,900,000	1,850,000	1,050,000	
国際会議出席旅費補助金支出	500,000	0	500,000	
優秀論文表彰金支出	400,000	300,000	100,000	
リハ啓発活動事業支出	2,500,000	2,207,192	292,808	
地方会事務局運営補助金支出	7,960,000	7,960,000	0	
診療リハビリ認定支出	6,500,000	4,818,337	1,681,663	
専門医会経費支出	2,800,000	13,107,075	△ 10,307,075	

受講者数：10 名

- ・小児のリハビリテーション研修会

期日：平成 22 年 9 月 2 日～4 日

会場：旭川荘療育センター療育園（岡山市）

受講者数：36 名

- ・臨床筋電図・電気診断学入門講習会

期日：平成 22 年 10 月 16 日～17 日

会場：慶應義塾大学医学部信濃町キャンパス内

新棟 11 階大会議室

受講者数：48 名

- ・職業リハビリテーション研修会

期日：平成 22 年 10 月 31 日～11 月 1 日

会場：岡山コンベンションセンター・吉備高原

医療リハビリテーションセンター

受講者数：13 名

- ・（平成 22 年度第 1 回）嚥下障害実習研修会

期日：平成 22 年 9 月 25 日～26 日

会場：浜松市リハビリテーション病院・聖隷三

方原病院

受講者数：28 名

② 管理費支出	74,470,000	76,225,913	△ 1,755,913
給料手当支出	35,000,000	34,426,454	573,546
福利厚生費支出	4,000,000	4,666,584	△ 666,584
総会費支出	2,500,000	1,701,945	798,055
理事会費支出	8,000,000	12,753,908	△ 4,753,908
旅費交通費支出	800,000	1,086,952	△ 286,952
顧問料支出	2,790,000	2,772,000	18,000
ホームページ維持管理費支出	2,400,000	682,290	1,717,710
通信運搬費支出	2,000,000	1,709,513	290,487
情報関連整備費支出	2,200,000	1,188,142	1,011,858
什器備品費支出	500,000	1,113,530	△ 613,530
消耗品費支出	400,000	632,013	△ 232,013
印刷製本費支出	1,500,000	1,623,234	△ 123,234
光熱水料費支出	660,000	565,060	94,940
賃借料支出	5,270,000	5,417,786	△ 147,786
租税公課支出	1,400,000	462,600	937,400
負担金支出	2,700,000	2,930,425	△ 230,425
支払手数料支出	1,750,000	1,657,483	92,517
雑支出	600,000	835,994	△ 235,994
事業活動支出計	262,889,000	287,824,939	△ 24,935,939
事業活動収支差額	△ 33,680,000	△ 28,683,683	△ 4,996,317
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
2. 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	6,000,000	997,380	5,002,620
50周年記念事業積立資産取得支出	5,000,000	0	5,000,000
退職給付引当資産取得支出	1,000,000	997,380	2,620
投資活動支出計	6,000,000	997,380	5,002,620
投資活動収支差額	△ 6,000,000	△ 997,380	△ 5,002,620
III 予備費支出	500,000	0	500,000
当期収支差額	△ 40,180,000	△ 29,681,063	△ 10,498,937
前期繰越収支差額	37,477,705	37,477,705	0
次期繰越収支差額	△ 2,702,295	7,796,642	△ 10,498,937

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には現金・郵便貯金・普通預金・未収金・仮払金・預り金・未払金、未払住民税、未払消費税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	199,853	112,186
郵 便 貯 金	4,242,010	2,570,789
普 通 預 金	35,406,396	5,555,776
未 収 金	8,550	2,364,535
仮 払 金	0	0
合 計	39,856,809	10,603,286
預 り 金	576,380	431,140
未 払 金	1,302,424	2,305,504
未 払 住 民 税	70,000	70,000
未 払 消 費 税 等	430,300	0
合 計	2,379,104	2,806,644
次期繰越収支差額	37,477,705	7,796,642

3. 負担金内訳

日本障害者協議会、日本専門医制評価・認定機構、日本障害者リハビリテーション協会、内保連、外保連、理学療法士等講習会、ISPRM、「運動器の10年」日本委員会

監査報告書	
平成23年4月19日	
社団法人 日本リハビリテーション医学会 理事長 里 宇 明 元 殿	社団法人 日本リハビリテーション医学会 監 事 佐田 幹 男 印 監 事 木村 彰 男 印 公認会計士 袖山 裕 行 印
平成22年4月1日から平成23年3月31日に至る平成22年度の業務執行及び財産の状況に関し監査を実施した。 監査の結果、会務は定款に従い理事会及び評議員会並びに総会の議決に基づき誤りなく行われており、また財産の状況については、会計基準に基づき処理され、妥当のものと認め報告する。	

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ・福祉・地域リハビリテーション実習研修会 | 受講者数：111名 |
| 期日：平成23年2月18日～19日 | ・「内部障害」 |
| 会場：横浜市総合リハビリテーションセンター | 期日：平成23年2月19日 |
| 受講者数：14名 | 会場：大手町サンケイプラザ・4階ホール |
| 2) 学術集会研修会 | 受講者数：129名 |
| 期日：平成22年5月20日～22日 | 5) 生涯教育研修会 |
| 会場：鹿児島市民ホール | 北海道ブロック |
| 受講者数：2,600名 | ・期日：平成22年4月24日 |
| 3) 専門医会学術集会研修会 | 会場：札幌医科大学記念ホール |
| 期日：平成22年11月20日～21日 | 受講者数：41名 |
| 会場：パシフィコ横浜 | ・期日：平成22年9月11日 |
| 受講者数：600名 | 会場：ムトウビル6階 |
| 4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会 | 受講者数：39名 |
| ・「骨関節障害」 | ・期日：平成23年3月5日 |
| 期日：平成22年11月6日 | 会場：札幌医療技術福祉専門学校 |
| 会場：大手町サンケイプラザ・4階ホール | 受講者数：32名 |
| 受講者数：94名 | 東北ブロック |
| ・「神経系障害」 | ・期日：平成22年9月11日 |
| 期日：平成22年12月18日 | 会場：青森市民ホール 1階 第1会議室 |
| 会場：大手町サンケイプラザ・301～303号室 | 受講者数：50名 |

- ・期日：平成 22 年 11 月 28 日
会場：東北大学医学部良陵会館
受講者数：66 名
- ・期日：平成 23 年 3 月 19 日（中止）
会場：仙台情報・産業プラザ AER
受講者数

関東ブロック

- ・期日：平成 22 年 9 月 11 日
会場：野口英世記念館（千駄ヶ谷）
受講者数：162 名
- ・期日：平成 22 年 10 月 2 日
会場：新潟大学医学部有壬記念館
受講者数：26 名
- ・期日：平成 22 年 12 月 4 日
会場：東京大学鉄門記念講堂
受講者数：126 名
- ・期日：平成 23 年 2 月 26 日
会場：前橋テルサ
受講者数：35 名
- ・期日：平成 23 年 3 月 19 日（中止）
会場：東京慈恵会医科大学 1 号館 3 階講堂
受講者数

北陸ブロック

- ・期日：平成 22 年 9 月 18 日
会場：ホテル金沢
受講者数：31 名
- ・期日：平成 23 年 3 月 26 日
会場：金沢大学病院 宝ホール
受講者数：35 名

中部・東海ブロック

- ・期日：平成 22 年 8 月 21 日
会場：静岡グランドホテル中島屋
受講者数：41 名
- ・期日：平成 22 年 8 月 28 日
会場：大正製薬株式会社 名古屋支店
受講者数：83 名
- ・期日：平成 22 年 10 月 16 日
会場：長野県松本文化会館
受講者数：20 名
- ・期日：平成 23 年 1 月 22 日
会場：江崎ホール
受講者数：37 名
- ・期日：平成 23 年 2 月 5 日

会場：大正製薬株式会社 名古屋支店
受講者数：86 名

近畿ブロック

- ・期日：平成 22 年 5 月 8 日
会場：京都府立医科大学附属図書館ホール
受講者数：70 名
- ・期日：平成 22 年 7 月 3 日
会場：関西医科大学附属枚方病院
受講者数：97 名
- ・期日：平成 22 年 9 月 11 日
会場：神戸国際会議場
受講者数：152 名
- ・期日：平成 22 年 10 月 2 日
会場：大阪医科大学臨床第一講堂
受講者数：71 名
- ・期日：平成 22 年 11 月 6 日
会場：兵庫県民会館
受講者数：88 名
- ・期日：平成 22 年 11 月 14 日
会場：京都府立医科大学附属図書館ホール
受講者数：56 名
- ・期日：平成 23 年 3 月 12 日
会場：京都大学芝蘭会館 稲盛ホール
受講者数：71 名

中国・四国ブロック

- ・期日：平成 22 年 6 月 12 日
会場：高新文化ホール
受講者数：48 名
- ・期日：平成 22 年 6 月 27 日
会場：米子コンベンションセンター
受講者数：92 名
- ・期日：平成 22 年 11 月 6 日
会場：高知商工会館 光の間（4 階）
受講者数：45 名
- ・期日：平成 22 年 12 月 5 日
会場：県立広島大学三原キャンパス
受講者数：110 名

九州ブロック

- ・期日：平成 22 年 9 月 5 日
会場：アバンセ
受講者数：173 名
- ・期日：平成 23 年 2 月 20 日
会場：ピーコンプラザ（別府国際コンベン

▶表 6

平成23年度暫定収支予算書

(平成23年4月1日から平成23年6月3日まで)

(単位：円)

科 目	暫定予算額	前年度予算額	増△減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費収入				
正会員会費収入	95,000,000	95,000,000	0	
会員収入計	95,000,000	95,000,000	0	
② 事業収入				
学術集會事業収入	0	0	0	
参加費収入	0	0	0	
抄録集収入	0	0	0	
展示収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
協賛金等収入	0	0	0	
共同演者申込料収入	0	0	0	
会誌等発行事業収入	1,010,000	1,010,000	0	
別冊収入	90,000	90,000	0	
広告料収入	700,000	700,000	0	
会員外会誌販売収入	0	0	0	
用語集販売収入	200,000	200,000	0	
著作権料収入	20,000	20,000	0	
専門医等認定事業収入	1,120,000	1,120,000	0	
登録料収入	620,000	620,000	0	
更新料収入	500,000	500,000	0	
研修会事業収入	0	3,000,000	△ 3,000,000	
専門医会収入	0	0	0	
事業収入計	2,130,000	5,130,000	△ 3,000,000	
③ 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	0	0	0	
学術研究助成基金利息収入	0	0	0	
基本財産運用収入計	0	0	0	
④ 雑収入				
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	10,000	10,000	0	
雑収入計	10,000	10,000	0	
事業活動収入計	97,140,000	100,140,000	△ 3,000,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
学術集會事業支出	5,000,000	5,000,000	0	
会場費支出	0	0	0	
運営費支出	0	0	0	
印刷・通信費支出	2,500,000	2,500,000	0	
会議費等支出	500,000	500,000	0	
事務局経費支出	2,000,000	2,000,000	0	
抄録集作成費支出	600,000	600,000	0	
会誌発行費支出	4,000,000	4,000,000	0	
リハニュース発行費支出	700,000	700,000	0	
各種委員会旅費・会場費支出	3,500,000	3,500,000	0	
各種委員会経費支出	500,000	500,000	0	
専門医等認定事業費支出	1,200,000	1,200,000	0	
実習研修事業支出	0	0	0	
研修会事業支出	0	3,000,000	△ 3,000,000	
海外研修助成金支出	750,000	750,000	0	
国際会議出席旅費補助金支出	350,000	350,000	0	
優秀論文表彰金支出	0	0	0	
リハ啓発活動事業費支出	0	0	0	
地方会事務局運営補助金支出	1,000,000	1,000,000	0	
診療がトライン確定支出	500,000	500,000	0	
専門医会経費支出	700,000	700,000	0	
事業費支出計	18,800,000	21,800,000	△ 3,000,000	

ションセンター)

受講者数：145 名

11. 専門医，認定臨床医の認定

- | | |
|----------------------|---------|
| 1) 平成 22 年度専門医認定者数 | 62 名 |
| 平成 23 年 3 月末現在 | 1,789 名 |
| 2) 平成 22 年度認定臨床医認定者数 | 65 名 |
| 平成 23 年 3 月末現在 | 3,923 名 |

12. 指導責任者の認定

- | | |
|-------------------|-------|
| 平成 22 年度指導責任者認定者数 | 37 名 |
| 平成 23 年 3 月末現在 | 896 名 |

13. 研修施設の認定

- | | |
|-----------------|--------|
| 平成 22 年度研修施設認定数 | 23 施設 |
| 平成 23 年 3 月末現在 | 503 施設 |

14. 学術研究助成

本学会誌に掲載された論文のうち優秀な論文を表彰した。また、若手研究者への国際学術交流の一環として海外研修助成を行った。

15. 市民公開講座の開催

平成 22 年度は、①青森県②岡山県の各地で市民公開講座を開催し、広くリハビリテーション医学・医療の啓発に努めた。

② 管理費支出			
給料手当支出	4,400,000	3,800,000	600,000
福利厚生費支出	600,000	200,000	400,000
総会費支出	1,700,000	1,700,000	0
理事会費支出	1,000,000	1,000,000	0
評議員会費支出	300,000	0	300,000
50周年事業費支出	300,000	0	300,000
震災対策費支出	2,350,000	0	2,350,000
旅費交通費支出	800,000	800,000	0
顧問料支出	126,000	126,000	0
ホームページ維持管理費支出	200,000	200,000	0
通信運搬費支出	850,000	850,000	0
情報関連整備費支出	300,000	300,000	0
什器備品費支出	50,000	50,000	0
消耗品費支出	100,000	100,000	0
印刷製本費支出	200,000	200,000	0
光熱水料費支出	100,000	100,000	0
賃借料支出	800,000	800,000	0
租税公課支出	400,000	400,000	0
負担金支出	1,500,000	1,500,000	0
支払手数料支出	1,000,000	1,000,000	0
雑支出	100,000	100,000	0
管理費支出計	17,176,000	13,226,000	3,950,000
事業活動支出計	35,976,000	35,026,000	950,000
事業活動収支差額	61,164,000	65,114,000	△ 3,950,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	0	0	0
特定資産取得支出計	0	0	0
② 敷金・保証金支出			
保証金支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
II 予備費支出	500,000	500,000	0
当期収支差額	60,664,000	64,614,000	△ 3,950,000

II. 平成 23 年度収支暫定予算

平成 23 年度収支暫定予算案について、財務担当の
上月常任理事から説明が行われ、原案どおり承認され
た。(表 6)

III. 平成 23 年度事業計画案及び収支予算案について

平成 23 年度事業計画案について、はじめに、事業
方針について里宇理事長から、引き続き庶務担当の赤
居常任理事から説明が行われ、原案どおり承認され
た。

平成 23 年度収支予算案について、財務担当の上月
常任理事から説明が行われ、原案どおり承認された。
(表 7)

平成 23 年度 事業計画

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

【事業方針】

1. 学術活動の推進

- ① 年次学術集会を開催する。
- ② 地方会学術集会を開催する。
- ③ 専門医会学術集会を開催する。
- ④ 学会誌を刊行する。

2. 専門医・認定臨床医制度の充実と発展

- ① リハビリテーション医育成アクションプランの実
行を継続する。
- ② 専門医・認定臨床医制度の見直しを継続する。
- ③ 専門医制度の基本設計に関する議論に対応する。

3. リハビリテーション医学教育の充実

- ① リハビリテーション医学講座の設置を働きかけ
る。
- ② 卒前教育を充実させる。
- ③ 初期臨床研修における教育を充実させる。
- ④ 専門医・認定臨床医育成のための教育を充実させ
る。
- ⑤ 医師生涯学習における教育を充実させる。
- ⑥ 一般医家に対するリハビリテーションプライマリ
ケア教育を充実させる。

4. 調査・研究事業の推進

- ① 診療ガイドラインを策定する。
- ② エビデンス構築基盤としてのデータマネジメント
システムを整備する。
- ③ 競争的研究資金に応募し、多施設共同研究を企
画・推進する。

5. 社会保障制度改革への対応と提言

- ① 関連団体との連携と情報交換を強化する。

▶表 7

平成23年度収支予算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費収入				
正会員会費収入	115,500,000	115,500,000	0	
会費収入計	115,500,000	115,500,000	0	
② 事業収入				
学術集金事業収入	76,600,000	66,059,000	10,541,000	
参加費収入	44,200,000	34,890,000	9,310,000	
抄録集販売収入	600,000	900,000	△ 300,000	
展示収入	20,000,000	7,743,000	12,257,000	
広告料収入	1,300,000	1,376,000	△ 76,000	
協賛金等収入	10,000,000	20,310,000	△ 10,310,000	
共同演者申込料収入	500,000	840,000	△ 340,000	
会誌等発行事業収入	14,800,000	13,300,000	1,500,000	
別冊収入	700,000	700,000	0	
広告料収入	4,000,000	4,000,000	0	
会誌販売収入	7,600,000	7,600,000	0	
著作権料収入	2,500,000	1,000,000	1,500,000	DVD販売料含む
専門医等認定事業収入	13,300,000	18,360,000	△ 5,060,000	
審査料収入	4,000,000	5,360,000	△ 1,360,000	
登録料収入	3,300,000	3,000,000	300,000	
更新料収入	6,000,000	10,000,000	△ 4,000,000	
研修会事業収入	12,000,000	11,000,000	1,000,000	
専門医会収入	6,510,000	4,200,000	2,310,000	
専門医会学術集金収入	6,510,000	4,200,000	2,310,000	
事業収入計	123,210,000	112,919,000	10,291,000	
③ 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	300,000	300,000	0	
学術研究助成基金利息収入	300,000	300,000	0	
基本財産運用収入計	600,000	600,000	0	
④ 補助金収入				
国庫補助金収入	1,000,000	0	1,000,000	
補助金収入計	1,000,000	0	1,000,000	
⑤ 寄附金収入				
寄附金収入	10,000,000	0	10,000,000	
寄附金収入計	10,000,000	0	10,000,000	
⑥ 雑収入				
受取利息収入	90,000	90,000	0	
雑収入	100,000	100,000	0	
雑収入計	190,000	190,000	0	
事業活動収入計	250,500,000	229,209,000	21,291,000	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
学術集金事業支出	66,600,000	66,059,000	541,000	
会場費支出	15,225,000	25,200,000	△ 9,975,000	
運営費支出	44,435,685	30,459,000	13,976,685	
印刷・通信費支出	4,418,400	4,700,000	△ 281,600	
会議費等支出	630,915	1,000,000	△ 369,085	
事務局経費支出	1,890,000	4,700,000	△ 2,810,000	
抄録集作成費支出	5,000,000	5,000,000	0	
会誌発行費支出	35,000,000	35,000,000	0	
リハニュース発行費支出	5,200,000	4,800,000	400,000	
各種委員会旅費・会場費支出	13,000,000	13,000,000	0	
各種委員会経費支出	6,637,000	3,000,000	3,637,000	
専門医等認定事業支出	10,608,000	9,000,000	1,608,000	
実習研修事業支出	2,202,000	1,600,000	602,000	
研修会事業支出	7,500,000	8,400,000	△ 900,000	
DVD作製費支出	0	9,000,000	△ 9,000,000	
データマネジメント事業費支出	0	5,000,000	△ 5,000,000	

② 2012 年医療保険・介護保険同時改定に向けた提言を行う。

③ 制度体系について、中長期的展望に立った提言を行う。

6. 社会への貢献

- ① リハビリテーション医療の充実・普及を図る。
- ② 障害者の社会参加を促進する。
- ③ 市民啓発事業を実施する。
- ④ 脳卒中対策基本法の成立に向けた活動を継続する。
- ⑤ 東日本大震災の復興支援に取り組む。

7. 国際化の推進

- ① 各国研究者間の交流を促進する。
- ② アジア地域との連携と交流を促進する。
- ③ 国際学会への対応を強化する。

8. 学会組織の見直しと充実

- ① 公益法人制度への移行を着実に進める。
- ② 地方会機能を強化する。
- ③ 学会の危機管理体制を整備する。
- ④ 会員ネットワークシステムの一層の充実を図る。
- ⑤ 広報活動の一層の充実を図る。

名簿作成費支出	0	5,000,000	△ 5,000,000
海外研修助成金支出	2,900,000	2,900,000	0
国際会議出席旅費補助金支出	0	500,000	△ 500,000
優秀論文表彰金支出	400,000	400,000	0
リハ啓発活動事業支出	2,500,000	2,500,000	0
地方会事務局運営補助金支出	7,960,000	7,960,000	0
診療ガイドライン策定支出	3,013,000	6,500,000	△ 3,487,000
専門医会経費支出	10,260,000	2,800,000	7,460,000
専門医会学術集会支出	6,510,000	0	6,510,000
専門医会支出	3,750,000	2,800,000	950,000
補助金支出	1,000,000	0	1,000,000
国庫補助金支出	1,000,000	0	1,000,000
事業費支出計	179,780,000	188,419,000	△ 8,639,000
② 管理費支出			
給料手当支出	35,000,000	35,000,000	0
福利厚生費支出	4,000,000	4,000,000	0
総会費支出	1,600,000	2,500,000	△ 900,000
理事会費支出	6,000,000	8,000,000	△ 2,000,000
評議員会費支出	4,800,000	0	4,800,000 選挙関係経費
旅費交通費支出	500,000	800,000	△ 300,000
顧問料支出	2,790,000	2,790,000	0
ホームページ維持管理費支出	2,800,000	2,400,000	400,000
通信運搬費支出	2,000,000	2,000,000	0
情報関連整備費支出	2,066,000	2,200,000	△ 134,000
什器備品費支出	500,000	500,000	0
消耗品費支出	400,000	400,000	0
印刷製本費支出	1,500,000	1,500,000	0
光熱水料費支出	660,000	660,000	0
賃借料支出	5,270,000	5,270,000	0
租税公課支出	1,400,000	1,400,000	0
負担金支出	2,700,000	2,700,000	0
50周年事業費支出	300,000	0	300,000 実行委員会経費等
震災対策費支出	10,000,000	0	10,000,000
支払手数料支出	1,750,000	1,750,000	0
雑支出	600,000	600,000	0
管理費支出計	86,636,000	74,470,000	12,166,000
事業活動支出計	266,416,000	262,889,000	3,527,000
事業活動収支差額	△ 15,916,000	△ 33,680,000	17,764,000
Ⅱ 投資活動収支の部			
1 投資活動収入	20,000,000	0	20,000,000
投資活動収入計	20,000,000	0	20,000,000
2 投資活動支出			
① 特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0
50周年記念事業積立支出	5,000,000	5,000,000	0 記念事業積立金
特定資産取得支出計	6,000,000	6,000,000	0
投資活動支出計	6,000,000	6,000,000	0
投資活動収支差額	14,000,000	△ 6,000,000	20,000,000
Ⅲ 予備費支出	500,000	500,000	0
当期収支差額	△ 2,416,000	△ 40,180,000	37,764,000
前期繰越収支差額	7,796,642	37,477,705	△ 29,681,063
次期繰越収支差額	5,380,642	△ 2,702,295	8,082,937

9. 50周年記念事業の準備

- ①事業内容を検討し、順次、実施する。
- ②必要な資金の積み立てを継続する。

- 3) 第6回専門医会学術集会を、平成23年12月10日、11日の2日間、神戸国際会議場に於いて開催する。

2. 諸会議

- 1) 通常総会 1回
- 2) 評議員会 1回
- 3) 理事会
- 4) 地方会総会
各地方会に於いて総会を開催
- 5) 倫理委員会
委員会所管事例の検討
- 6) 専門医会
 - ①専門医会総会の開催
 - ②専門医会学術集会の開催
 - ③年次学術集会における専門医企画
 - ④ RJN 活動
 - ⑤ SIG 活動

【事業計画】

1. 学術集会の開催

- 1) 第48回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成23年6月2日、3日、4日の3日間、千葉（幕張メッセ）に於いて開催する予定で、準備を進めてきましたが、3月11日の未曾有の大地震、津波及び福島第一原子力発電所の事態をも引き起こした東日本大震災の影響により、開催を延期せざるを得ないという結論になり、日程を再設定のうえ可及的速やかにお知らせすることとした。
- 2) 地方会学術集会の開催
各地方会に於いて学術集会を開催する。

- ⑥ WG 活動
- ⑦専門医としての学生・初期研修医に対するリクルート調査
- ⑧地方会における専門医交流
- ⑨専門医間の交流促進
- ⑩専門医の質の向上のための研修
- ⑪学会データベースを利用した研究推進
- ⑫専門医会研究補助金
- 7) 地方会連絡協議会
 - ①評議員選挙を踏まえて、地方会連絡協議会として問題点や要望をまとめて意見を発信して行く。また、専門医会と地方会との交流について検討する。
- 8) 各種委員会
 - 編集委員会他 14 委員会
 - (1) 編集委員会
 - ①学術集会での発表内容の向上、卒前・卒後教育の充実、エビデンス構築の基盤整備等に寄与すべく、質の高い学会誌を発行する。
 - ②学会の広報活動に寄与すべく、各種情報を学会誌に掲載するとともに学会誌の電子化・国際化を一層進める。
 - (2) 評価・用語委員会
 - ①Web 版リハビリテーション医学用語事典の運用と内容の充実
 - ②リハビリテーション医学用語集第7版の維持管理
 - ③評価法調査の継続
 - ④委員会としての広報の充実
 - ⑤他委員会との連携の強化
 - (3) 教育委員会
 - ①卒前教育カリキュラムと初期臨床研修
 - ②生涯教育研修会
 - ③実習研修会
 - ④病態別実践リハビリテーション研修会
 - ⑤一般医家リハビリテーション研修会（非会員医師対象の基礎講座）
 - ⑥専門医受験支援講習会
 - ⑦指導医研修会
 - (4) 認定委員会
 - ①専門医の認定及び資格更新に関すること
 - ②認定臨床医の認定及び資格更新に関すること
 - ③指導責任者の認定及び資格更新に関すること
 - ④研修施設の認定及び資格更新に関すること
 - ⑤単位付与項目の認定に関すること
 - ⑥各種法規に係る事項の検討
 - ⑦その他
- (5) 試験問題委員会
 - ①専門医認定、臨床認定医認定のための試験問題作成
 - ②実施した試験問題や予備問題の保存・管理
 - ③出題内容、問題作成の手順等の検討
- (6) 社会保険等委員会
 - ①医療保険に関する業務
 - ②介護保険に関する業務
 - ③リハビリテーション診療報酬体系を検討する業務
 - ④その他（診療報酬と介護報酬の整合性について検討）
- (7) 障害保健福祉委員会
 - ①障害者施策の動向と障害児・者を取りまく関連制度等の検討
 - ②社会参加推進のための障害者スポーツの検討
 - ③地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医の役割についての検討
- (8) 関連機器委員会
 - ①福祉用具についての広報活動
 - ②運動療法機器、作業療法機器についての広報活動
 - ③リハビリテーション機器データベース化の準備
- (9) 関連専門職委員会
 - ①関連職種の教育に関する調査分析と分析後の計画立案
 - ②PT・OT 長期教員養成研修会の運営協力
 - ③特定看護師の動向についての検討
- (10) 会則検討委員会
 - ①規則、内規、申し合わせ等の諸会則の整理を行う。
 - ②その他
- (11) 広報委員会
 - ①広報ニュースの発行
 - ②ホームページの改編・管理
 - ③会員 Web システムの有効活用、IT 化の推進
 - ④リハ医育成 AP の実践
 - ⑤リハ医学の普及・発展へ向けた啓発活動（医師、一般、企業、官庁、などを対象）

(12) 国際委員会

- ①平成 23 年度日本リハビリ学会海外研修助成プログラムの実施
- ②平成 23 年度外国人リハビリ医師対象の短期交流助成プログラムの実施
- ③Honorary/Corresponding Member の拡充、活動内容の見直し継続
- ④日韓合同カンファレンスの位置づけ検討
- ⑤英文ホームページの充実
- ⑥英文 annual report の作成と H/C Member への送付

(13) 診療ガイドライン委員会

- ①ガイドラインコア委員会：活動計画調整
- ②脳卒中治療ガイドライン策定委員会：脳卒中治療ガイドライン 2009 のパブリックコメントを踏まえ、3 版作成への活動
- ③脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会：2 版作成への助走
- ④呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会：第 2 版作成への助走
- ⑤リハビリテーション連携パス策定委員会：脳卒中連携パスに関する指針を学会誌、ホームページ掲載及び関連学協会へ周知
- ⑥障害者体力評価ガイドライン策定委員会：ガイドライン作成への助走
- ⑦神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会：ガイドライン作成への助走
- ⑧がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会：ガイドライン作成への助走

(14) システム委員会

- ①現行のリハビリテーション医学会システムの保守、改良
- ②新たなシステムの立つインフラの検討
- ③研修ポイント、会費等の電子決済などの検討

(15) データマネジメント特別委員会

- ①平成 23 年度に於いても厚生労働省老人保健事業推進費等補助金の交付申請を行い「リハビリテーションの提供に係る総合的な調査事業」を実施する。

(16) ワーキンググループ

- ①リハビリ育成アクションプラン策定 WG
- ②選挙の在り方に関する検討委員会

③公益法人制度に伴う WG

④専門医制度改革対応 WG

3. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年 13 回（第 48 回第 4 号～第 12 号、特別号、第 49 巻第 1 号～第 3 号）、1 回 9,400 部を発行する。

4. 広報誌の発行

広報誌「日本リハビリテーション医学会ニュース」（リハニュース）を年 4 回（季刊）発行する。

5. ホームページの管理運営

- 1) 掲載内容の更新、追加などを実施する。また、ホームページの改編・管理及び会員用 Web システムの有効活用に合わせて IT 化を推進する。

6. 教育及び研修

1) 実習研修会

筋電図、脊損尿路、小児、福祉/地域、動作解析、義肢、嚥下の研修会を開催する。また、専門的臨床検査、治療技術に関する新企画の検討を行う。

2) 学術集会研修会

第 48 回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成 23 年 6 月 2 日、3 日、4 日の 3 日間、千葉（幕張メッセ）に於いて開催する予定であったが、東日本大震災の影響により延期のため現在のところ（平成 23 年 4 月）開催は未定である。

3) 専門医学術集会研修会

平成 23 年 12 月 10 日、11 日の 2 日間、神戸国際会議場に於いて開催する。

4) 病態別実践リハビリテーション研修会

「骨関節障害」「神経系障害」「内部障害」の 3 研修会を開催する。

5) 生涯教育研修会

大阪市 毎日新聞ビルオーバルホール並びに全国 8 ブロックにおいて、生涯教育研修会を開催する。

6) 医学生リハビリテーションセミナー

医学生のためのリハビリテーションセミナーを開催する。

7. 専門医の認定

専門医（リハビリテーション科専門医）の認定審査を行う。

8. 認定臨床医の認定

認定臨床医の審査認定を行う。

9. 指導責任者の認定

申請に基づき指導責任者の認定審査を行う。

10. 研修施設の認定

申請に基づき研修施設の認定審査を行う。

11. 専門医の資格更新

専門医の資格更新審査を行う。

12. 認定臨床医の資格更新

認定臨床医の資格更新審査を行う。

13. リハ医学啓発活動事業

各地方会で市民公開講座等を開催し、広くリハビリテーション医学の啓発活動を行う。

14. 学術研究助成

- 1) 優秀論文への助成
- 2) 若手研究者への海外研修助成
- 3) 外国人リハ医への交流研修助成

15. 国際リハビリテーション関連

- 1) ISPRM, AOSPRM 等の活動に参加する。
- 2) アジア地域での交流活動を行う。

16. その他

- 1) リハビリテーション関連団体の主催する各種事業の後援、協賛等を行う。

IV. 公益社団法人への移行申請について（定款変更案について）

公益法人制度に伴うワーキンググループ担当の上月常任理事から、定款変更案について、代議員選挙に関する規則案について、代議員選挙に関する内規案について及び公益法人移行期間の代議員選挙関係日程表案について説明があり、原案どおり承認された。

V. 評議員の任期延長について

公益法人制度に伴うワーキンググループ担当の上月常任理事から、平成 23 年度は現行の評議員選挙と公益法人への移行に伴う代議員選挙の 2 回実施することは、業務的、経費的に負担が多いため、移行期間の評議員選挙は実施しないこととし、現在の評議員の任期は、平成 24 年総会時までとなっているが、仮に公益社団法人への移行がその時まで承認されていない場合を考慮し、評議員の任期を延長することで対応したい旨の提案説明があり、原案どおり承認された。

VI. 第 51 回（平成 26 年開催）学術集会会長の指名について

里宇理事長から、第 51 回学術集会会長候補者として、理事会及び評議員会において、才藤栄一理事（藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学講座）が推薦された旨の報告があり、原案どおり承認された。

VII. 会費を 2 年以上滞納した者の扱い

庶務担当の赤居常任理事から、会費を 2 年以上滞納した者について、定款 10 条により、会員の資格が喪失する旨の説明あり、承認された。なお、確認したい会員は事務局受付に該当者の名簿を設置しているので、申し出ることとした。

VIII. 名誉会員について

里宇理事長から、三上真弘会員、立野勝彦会員を、理事会及び評議員会で名誉会員に推薦することに決定した旨の報告があり、原案どおり承認された。

IX. その他

① 名誉会員証の贈呈

里宇理事長から、名誉会員になられ当日欠席の三上真弘氏を除く、立野勝彦氏に名誉会員証並びに盾が贈呈された。

② 優秀論文賞の表彰

里宇理事長から、日本リハビリテーション医学会論文賞選考内規に基づき、優秀な論文に対して賞状並びに賞金目録の贈呈が行われた。

○最優秀論文賞

千田 譲，伊東慶一，濱田健介，小竹伴照，
岸本秀雄，祖父江 元

「脳梗塞病型別にみた回復期リハビリテーション
成績の検討—MRI 脳白質病変との関係—」

○優秀論文賞

大熊るり，木下牧子

「回復期リハビリテーション病棟における気管切
開患者の転帰」

○奨励論文賞

田中貴志，加賀谷齊，横山通夫，才藤栄一，
馬場 尊

「嚥下造影検査後の早期呼吸器合併症についての
検討」

③海外研修助成証書の贈呈

里宇理事長から、平成 23 年度海外研修助成について、当日欠席の榎間 剛氏を除く、沢田光思郎、新藤 恵一郎、岡崎英人の各氏に、助成証書並びに助成金の目録が贈呈された。

④専門医会研究助成証書の贈呈

里宇理事長から、平成 22 年度専門医会研究補助金について、川上途行、寺本洋一、中村純人の各氏に、助成証書並びに助成金の目録が贈呈された。

以 上

第 1 回評議員会 議事録

日 時：平成 23 年 6 月 3 日(金)

13 時 00 分～ 15 時 00 分

場 所：毎日新聞ビル オーバルホール

大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞ビル B1

評議員数：193 名

出席者：会場出席者 155 名（欠席者 38 名）

議長の選任

定款第 24 条第 2 項に基づき、出席評議員の中から古市照人評議員が議長に選任された。また、副議長には大串 幹評議員が選任された。

定足数の確認

議長は出席評議員が定足数（評議員現在の過半数 97 名以上）に達していることを確認した後、開会を宣した。

議事録署名人の選任について

議長の指名により議事録署名人に、中野恭一評議員及び宮崎博子評議員が選任された。

議 題

■ 報告

I. 理事長報告

里宇理事長から、平成 22 年度における主な活動を総括して報告が行われた。

II. 平成 22 年度各種委員会報告

里宇理事長から、平成 22 年度の各種委員会及びリハビリテーション科専門医会の活動状況について、報告が行われた。

（以上、I、II は総会議事録参照）

■ 審議事項

I. 平成 22 年度事業報告及び収支決算報告

平成 22 年度事業報告について、庶務担当の赤居常任理事から説明が行われ、原案どおり承認された。

関連して、リハビリテーション医育成アクションプ

ラン策定ワーキンググループ担当の上月常任理事から、専門医の認定に関する内規の一部改正について説明が行われ、原案どおり承認された。

次に、平成 22 年度収支決算報告について、財務担当の上月常任理事から説明が行われ、引き続き住田監事、木村監事から、平成 22 年度の業務執行及び財産の状況に係る監査を実施した結果、適正に処理されていると認める旨の報告が行われ、原案どおり承認された。

II. 平成 23 年度収支暫定予算案について

平成 23 年度収支暫定予算案について、財務担当の上月常任理事から別冊資料に基づき説明が行われ、原案どおり承認された。

III. 平成 23 年度事業計画案及び収支予算案について

平成 23 年度事業計画案について、はじめに、事業方針について 里宇理事長から、引き続き庶務担当の赤居常任理事から説明が行われ、原案どおり承認された。

平成 23 年度収支予算案について、財務担当の上月常任理事から別冊資料に基づき説明が行われ、原案どおり承認された。

（以上、I～III は通常総会議事録参照）

IV. 公益社団法人への移行申請について（定款変更案について）

公益法人制度に伴うワーキンググループ担当の上月常任理事から、定款変更案について、代議員選挙に関する規則案について、代議員選挙に関する内規案について及び公益法人移行期間の代議員選挙関係日程表案について、配布資料に基づき説明があり、原案どおり承認された。

V. 評議員の任期延長について

公益法人制度に伴うワーキンググループ担当の上月常任理事から、平成 23 年度は現行の評議員選挙と公益法人への移行に伴う代議員選挙の 2 回実施することは、業務的、経費的に負担が多いため、移行期間の評議員選挙は実施しないこととし、現在の評議員の任期は、平成 24 年総会時までであるので、仮に公益社団法人への移行がその時まで承認されていない場合を考慮し、評議員の任期を延長することで対応したい旨の提案説明があり、原案どおり承認された。

VI. 第 51 回学術集会（平成 26 年開催）学術集会会長の指名について

里宇理事長から、第 51 回学術集会会長候補者として、理事会で協議した結果、才藤栄一理事（藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学講座）を推薦することに決定した旨の報告があり、原案どおり承認された。

VII. 会費を 2 年以上滞納した者の除名について

庶務担当の赤居常任理事から、会費を 2 年以上滞納した者について、定款 10 条により評議員会及び総会に諮り、会員の資格が喪失する旨の説明あり、承認された。なお、確認したい会員は事務局受付に該当者の名簿を設置しているので、申し出ることとした。

VIII. 名誉会員の推薦について

里宇理事長から、三上真弘会員、立野勝彦会員を、理事会で名誉会員に推薦することを決定した旨の報告があり、通常総会に諮ることが承認された。

IX. その他

①学術集会の準備状況について

第 48 回学術集会赤居正美会長、第 49 回学術集会蜂須賀研二会長及び第 50 回学術集会水間正澄会長から、それぞれ準備状況の報告があった。

以 上